

	①課題の設定に関すること		②仮説とその検証方法に関すること	
	a・b		c	d
	周辺情報(先行研究)と自分の研究との位置関係の把握	研究の学術的価値あるいは社会的意義	仮説の設定	検証方法
十分 評価4	・自分の研究の周辺情報（先行研究など）が十分にあり、自身の研究との位置関係が明確である。	・学術的価値も新規性が高い。あるいは社会的意義が適用できる範囲が広く一般的に通用するものである。	・abを背景とした仮説を設定しており、独創性も見られる。	・条件の統一，実験回数などが適切であり，cの仮説を客観的事実に基づいて十分に検証することができる。
おおむね 十分 評価3	・自分の研究の周辺情報（先行研究など）がおおむねあり，自身の研究との位置関係がある程度明確である。	・学術的価値，社会的意義の範囲が小さなコミュニティに限定されている。	・abを背景とした仮説を設定しているが，独創性を欠く。	・cの仮説を客観的事実に基づいておおむね適切に検証することができるが，実験回数など十分でない点も散見される。
やや不十分 評価2	・自分の研究の周辺情報（先行研究など）があまり調査なされていない。自身の研究との位置関係が不明確である。	・学術的価値，社会的意義の範囲も個人の趣味の域を出ない。	・abを背景としていない仮説である。	・仮説との関連性は見られるものの，検証は十分にできない。
不十分 評価1	・自分の研究の周辺情報（先行研究など）の調査がなされていない。また，周辺情報と自身の研究の位置関係が把握できていない。	・研究に対するこだわりすら感じられない。	・仮説の体を成していない。	・仮説との関連性が見られず，仮説の検証ができない。
自己 評価				
改善 点 コメント				